



NHK 詳細分析

2026-05-03_radio_news_0200

放送: 2026-05-03 | 分析日: 2026-05-13 16:12

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)	5.0 / 10	均衡
------------	----------	----



出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](#) | 閾値: [Pew Research Center](#)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

現在の日本政府は自由民主党（LDP）と公明党（Komeito）による連立政権である。2024年10月27日の衆院選においてLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席を獲得し、過半数割れの状況にある。主要野党は立憲民主党（CDP、148議席）、日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、日本共産党（JCP、8議席）、れいわ新選組（Reiwa、9議席）である。

政党	左右スコア（0～10）	議席数	政権/野党	主要政策
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発廃止、反軍拡
社民党（SDP）	2.5	1	野党	平和主義、護憲、脱原発
れいわ新選組（Reiwa）	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、反エスタブリッシュメント
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	護憲、分配重視、脱原発
公明党（Komeito）	5.0	24	連立与党	平和主義、社会保障、LDP抑制
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税減税、実用主義
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	憲法改正、防衛増強、原発再稼働
日本維新の会（Ishin）	7.0	38	野党	規制緩和、行政改革、改憲
参政党（）	9.0	3	野党	超国家主義、右翼ポピュリズム

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

Sanseito
)

日本の現在の主要な政治的対立軸は、憲法改正（特に第9条）をめぐる護憲派と改憲派の対立、原子力エネルギー政策における即時廃止派と再稼働推進派の対立、防衛費増強（GDP比2%目標）をめぐる積極防衛派と平和主義派の対立、そして夫婦別姓・LGBTQ権利等の社会的価値観をめぐる対立である。2024年衆院選でのLDP過半数割れにより、政治的流動性が高まっている。

NHKは放送法に基づく公共放送機関であり、放送法第4条により政治的公平、報道の正確性、多角的論点の提示が義務付けられている。NHKの経営委員会委員12名は内閣総理大臣が任命（国会同意）するため、安倍政権期（2012～2020年）以降、政権との構造的近接性が批判されてきた。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）にとどまり、記者クラブ制度が情報アクセスの偏在を生む構造的要因となっている。

- ・ タイトル： NHKニュース（午後2時）
- ・ 日付（ファイル名より推定）： 特定不可（トランスクリプト内に明示なし、内容よりイラン・米国関係報道が含まれることから2025年前後と推定）
- ・ 推定放送時間： 約5分（00:00:00～00:05:20）
- ・ 司会者・レポーター： 「ハバラ」（アナウンサー名、00:04:39「ハバラがお伝えしました」）
- ・ インタビュー対象者： なし（ニュース速報形式、インタビューなし）

人物	役職	政党・所属	政治的スペクトル
ハバラ（アナウンサー）	NHKニュースキャスター	NHK（公共放送）	中立（制度上）
ファルス通信（引用）	イラン体制寄りメディア	イラン政府系	親イラン政府
CNN（引用）	米国民間放送	米国民間メディア	西側主流メディア
トランプ大統領（言及）	米国大統領	共和党	右派ポピュリスト

本放送は、イランと米国の軍事的緊張の継続・再燃可能性、茨城県東海村での潮干狩り中の水難事故、愛媛県今治市での住宅火災という三つの独立したニュース項目を速報形式で伝えるものである。

イラン・米国関係については、核合意（JCPOA）の崩壊以降、両国間の軍事的緊張が断続的に高まっており、本放送時点ではイランによる中東米軍施設への攻撃とその被害規模が焦点となっている。ファルス通信はイラン革命防衛隊に近い体制寄りメディアとして知られており、その報道は政治的意図を帯びる可能性がある。CNNの報道は衛星画像分析と情報筋への取材に基づくと考えられるが、米国メディアとしての視点が内在する。水難事故・火災については、季節的な安全啓発の文脈で報道されている。

以下の視点が均衡ある報道のために必要と考えられる：

- 【A】 イラン側の公式立場（外務省・政府声明）の直接引用
- 【B】 米国政府・国防総省の公式見解
- 【C】 独立した軍事専門家・安全保障研究者による分析
- 【D】 中東地域の中立的メディア（アルジャジーラ等）の視点
- 【E】 米軍施設被害に関する独立した検証（ファルス通信・CNN以外の情報源）
- 【F】 日本の安全保障・外交政策への影響（日本政府の立場）
- 【G】 国際法・国連安保理の枠組みからの評価
- 【H】 水難事故における気象・海象条件の詳細な安全情報

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

【I】 火災における消防・救急対応の詳細と教訓

【J】 イラン国内の市民社会・反体制派の声

【A】 イランの公式立場 — 部分的に取り扱い

タイムスタンプ : 00:00:04~00:00:43

引用 : 「イランとアメリカの間で再び衝突が起きる可能性はある。アメリカがいかなる合意や約束も守らないことは明らかだ」

評価 : ファルス通信経由での引用であり、イラン政府の直接声明ではなく「中央司令部の高官の声明」として伝達。体制寄りメディアのフィルターを通じた情報であることの明示は不十分。

【B】 米国政府・国防総省の公式見解 — 部分的に取り扱い

タイムスタンプ : 00:01:44~00:01:55

引用 : 「アメリカの国防総省が発表していたイランでの作戦の費用について」

評価 : 国防総省の公式発表数字(約250億ドル)は言及されるが、米国政府の公式立場・反論は独立した形では提示されていない。

【C】 独立した軍事専門家・安全保障研究者の分析 — 完全に欠如

タイムスタンプ : 該当なし

評価 : 専門家コメントは一切なく、情報の解釈・文脈化が不十分。

【D】 中東地域の中立的メディアの視点 — 完全に欠如

タイムスタンプ : 該当なし

評価 : ファルス通信(親イラン)とCNN(米国)の二極のみで、中立的な第三者メディアの視点が完全に欠如。

【E】 米軍施設被害の独立した検証 — 欠如

タイムスタンプ : 00:01:00~00:01:36

引用 : 「衛星画像の分析や、アメリカや湾岸諸国の情報筋への取材に基づく情報として」

評価 : CNNの情報源が「アメリカや湾岸諸国の情報筋」に限定されており、独立した検証機関による確認がない。

【F】 日本の安全保障・外交政策への影響 — 完全に欠如

タイムスタンプ : 該当なし

評価 : 日本の公共放送として、中東情勢が日本の外交・エネルギー安全保障に与える影響への言及が皆無。

【G】 国際法・国連安保理の枠組み — 完全に欠如

タイムスタンプ : 該当なし

評価 : 軍事行動の国際法上の評価が一切なされていない。

【H】 水難事故の安全情報 — 部分的に取り扱い

タイムスタンプ : 00:03:20~00:03:26

引用 : 「茨城県北部の沿岸には、昨日午前10時まで波浪注意報が出されていました」

評価 : 波浪注意報の言及はあるが、具体的な安全対策・注意喚起情報は不十分。

【I】 火災の消防・救急対応の詳細 — 部分的に取り扱い

タイムスタンプ : 00:04:01~00:04:07

引用 : 「火はおよそ1時間半後に消し止められましたが」

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



評価：基本的な事実は伝えられているが、教訓的な安全情報は欠如。

【J】イラン国内の市民社会・反体制派の声 — 完全に欠如

タイムスタンプ：該当なし

評価：イラン国内の多様な声が全く反映されていない。

根拠：本放送は速報ニュース形式（約5分）であり、深度ある分析を期待することは形式上困難である。しかし、イラン・米国関係という重大な国際安全保障問題において、情報源がファルス通信（体制寄り）とCNN（米国）の二極に限定され、独立した専門家分析、日本への影響、国際法的评价が完全に欠如している点は、放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から問題がある。水難・火災ニュースについては基本的な事実は伝えられているが、安全啓発情報としての深度が不足している。

- ・独立した中東安全保障専門家（日本国内）：イラン・米国軍事衝突が日本のエネルギー安全保障・ホルムズ海峡通航に与えるリスクを分析できた
- ・外務省・防衛省の公式コメント担当者：日本政府の公式立場と外交的対応を提示できた
- ・国連安保理・国際法専門家：軍事行動の合法性・国際法上の評価を提供できた
- ・アルジャジーラ等の中東メディア記者：地域的視点からの情報を補完できた
- ・イラン研究者・地域専門家：ファルス通信の報道の政治的文脈を解説できた
- ・海上保安庁・気象庁の安全担当者：水難事故に関する具体的な安全情報を提供できた
- ・消防庁・火災調査専門家：住宅火災の原因分析と予防情報を提供できた
- ・米国国防総省の公式スポークスパーソン：費用・被害に関する公式見解を直接提示できた

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選択

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：ファルス通信（イラン体制寄りメディア）

タイムスタンプ：00:00:04～00:00:43

発言：「イランとアメリカの間で再び衝突が起きる可能性はある。アメリカがいかなる合意や約束も守らないことは明らかだ」

位置づけ：イラン革命防衛隊に近い体制寄りメディア。イラン政府の公式立場を反映する傾向が強い。

欠如している対立意見：米国国防総省の公式声明、独立した安全保障専門家の分析

情報源の深度チェック：

(a) 資金調達：イラン政府・革命防衛隊系の資金による運営とされる。利益相反：イラン政府の政策を正当化する方向での報道バイアスが構造的に存在する。

(b) 委任：イラン政府の立場を代弁するメディアとして、中立的評価との両立は困難。

(c) 信頼性マトリクス（ソース信号機、6次元、各-2～+2）：

D1 利益相反：-2 — イラン政府系メディアとして政府立場を支持する構造的バイアス

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- D2 個人的リスク：-1 — 体制寄り報道は個人的リスクを伴わない
- D3 専門的能力：+1 — イラン国内情報へのアクセスは高い
- D4 意見の一貫性：0 — 政府方針に従う一貫性はあるが独立した一貫性ではない
- D5 感情化対データ：-1 — 「無謀で愚かな」等の感情的表現を含む
- D6 情報源レベル：+1 — 一次情報源に近いが政治的フィルターあり

合計：-2 → ソース信号機：黄色（-4～+4）

(d) この情報源は「体制寄り」と注記されているが、その後の内容提示において中立的情報源と同等の扱いを受けており、構造的偏向性の説明が不十分。

専門家2：CNN（米国民間放送）

タイムスタンプ：00:00:58～00:01:55

発言：「衛星画像の分析や、アメリカや湾岸諸国の情報筋への取材に基づく情報として、イランやその同盟勢力の攻撃により、中東8カ国の少なくとも16カ所のアメリカ軍の施設が被害を受け」

位置づけ：米国の主要民間放送局。西側主流メディアとしての視点を持つ。

欠如している対立意見：独立した衛星画像分析機関（例：Planet Labs、Maxar等）の独自評価

情報源の深度チェック：

(a) 資金調達：民間企業（Warner Bros. Discovery傘下）。広告収入・購読料。利益相反：視聴率・注目度を高める方向での報道バイアスの可能性。

(b) 委任：独立した報道機関として中立性を標榜するが、米国メディアとしての視点が内在。

(c) 信頼性マトリクス：

- D1 利益相反：-1 — 米国メディアとして米国の視点に近い傾向
- D2 個人的リスク：0 — 機関としてのリスクは中程度
- D3 専門的能力：+2 — 国際報道における高い専門性
- D4 意見の一貫性：+1 — 報道基準の一貫性は比較的高い
- D5 感情化対データ：+1 — 衛星画像等のデータに基づく報道
- D6 情報源レベル：+1 — 情報筋への直接取材（ただし匿名）

合計：+4 → ソース信号機：黄色（-4～+4）

(d) CNNは「情報筋の話として」と明記されているが、情報源の匿名性と米国・湾岸諸国への偏りが独立した検証を困難にしている。

欠如している専門家グループ：

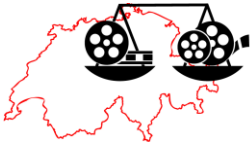
- ・ 日本国内の中東安全保障専門家（大学・シンクタンク所属）
- ・ 国連・国際法専門家
- ・ 独立した衛星画像分析機関

まとめ（マトリクス結果）：

- ・ ファルス通信：ソース信号機黄色（合計-2）、体制寄りメディアとして構造的偏向あり
- ・ CNN：ソース信号機黄色（合計+4）、専門性は高いが米国視点の内在と匿名情報源の問題あり
- ・ 両情報源とも独立した中立的専門家ではなく、対立する二極の当事者寄りメディアであり、真の多角的視点が欠如している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選択

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源 1：ファルス通信 (Fars News Agency)

タイムスタンプ：00:00:04～00:00:43 — 発言：「イランとアメリカの間で再び衝突が起きる可能性はある」

(a) 資金調達と運営主体：イラン革命防衛隊 (IRGC) に近い半官半民のメディア機関。イラン政府の政策を支持する方向での報道が構造的に期待される。

(b) 構造的利益相反：イラン政府の立場を正当化する報道を行うことで、組織の存続・資金調達が維持される構造。

(c) 欠如している対立情報源：米国国防総省の公式声明、独立した中東メディア (アルジャジーラ等)

国家資金援助機関として：イラン政府系メディアとして、イラン政府の行動を正当化する方向での構造的偏向を明示すべきであった。「体制寄り」という注記は存在するが不十分。

欠如している対立情報源：独立した国際安全保障機関 (IISS、SIPRI等) の評価

情報源 2：CNN (Cable News Network)

タイムスタンプ：00:00:58～00:01:55 — 発言：「衛星画像の分析や、アメリカや湾岸諸国の情報筋への取材に基づく情報として」

(a) 資金調達と運営主体：Warner Bros. Discovery傘下の民間放送局。広告収入・購読料による運営。

(b) 構造的利益相反：米国メディアとして米国の視点に近い傾向があり、「アメリカや湾岸諸国の情報筋」という情報源の偏りが構造的に存在する。

(c) 欠如している対立情報源：ロシア・中国・イランの公式見解、独立した衛星画像分析機関

民間メディアとして：独立した報道機関であるが、情報源が「アメリカや湾岸諸国」に限定されており、地政学的偏向の可能性はある。

欠如している対立情報源：独立した国際調査機関による費用・被害の独自評価

まとめ：本放送の情報源選択は、対立する二つの非中立的情報源 (イラン体制寄りのファルス通信と米国メディアのCNN) に限定されており、独立した第三者の情報源が完全に欠如している。この二極構造は表面上の「バランス」を演出しながら、実際には独立した専門家分析を排除している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：異なる立場間の発言時間の配分。

推定発言時間：

- イラン・米国関係ニュース（ファルス通信・CNN引用）：約1分55秒（約37%）
- 茨城県水難事故：約1分（約19%）
- 愛媛県今治市火災：約1分（約19%）
- 繰り返し・重複部分（トランスクリプトの技術的重複）：約45秒（約14%）
- 冒頭・締め・間：約40秒（約11%）

イラン・米国関係における立場別時間配分：

- ファルス通信（イラン体制寄り）引用：約40秒（イラン関連の約35%）
- CNN（米国メディア）引用：約55秒（イラン関連の約48%）
- 中立的分析・日本への影響：0秒（0%）

まとめ：イラン・米国関係の報道において、ファルス通信とCNNという二つの非中立的情報源に時間が集中しており、独立した分析や日本への影響に関する時間が皆無である。ただし速報ニュース形式の制約を考慮すると、この時間配分は形式的な問題でもある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？ (ステップ0を参照)

省略1：

文脈：日本の安全保障・エネルギー政策への影響

関連タイムスタンプ：00:00:04～00:01:55 (イラン・米国関係全体)

影響：中東情勢の緊張が日本のホルムズ海峡依存エネルギー供給、自衛隊の中東派遣、日米同盟の文脈に与える影響が完全に欠如。NHKが日本の公共放送である以上、日本への影響の言及は基本的な報道義務と考えられる。

省略2：

文脈：米軍施設被害に関する米国政府の公式反論・説明

関連タイムスタンプ：00:01:00～00:01:55

影響：CNNが報じた被害規模(16カ所、費用400～500億ドル)に対する米国政府の公式見解が提示されないため、視聴者はCNNの推計を事実として受け取るリスクがある。

省略3：

文脈：ファルス通信の政治的性格に関する詳細な説明

関連タイムスタンプ：00:00:04～00:00:10

影響：「体制寄りのメディア」という一言の注記のみで、ファルス通信が革命防衛隊系であること、その報道が政治的プロパガンダとしての性格を持つことの説明が欠如。視聴者がこの情報源の信頼性を適切に評価できない。

まとめ：本放送における最大の省略は、日本の公共放送として当然含まれるべき「日本への影響」の視点と、対立する情報源に対する均衡ある反論の欠如である。速報形式の制約はあるものの、これらの省略は放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 連座による信用失墜 (コンタクト・ギルト)

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：否定的なグループ・思想との関連付けによる信用失墜。

関連付け 1 :

タイムスタンプ : 00:00:45~00:00:53

引用：「トランプ大統領は、SNSへの投稿で、イラン指導部における強硬派と穏健派の内部構想を指摘していました。」

技法：トランプ大統領の発言を「SNSへの投稿」として紹介することで、公式外交チャンネルではなく非公式・個人的な発言として位置づけ、その政策的重みを相対的に低下させる可能性がある。

影響：「SNSへの投稿」という表現は、発言の信頼性・公式性を暗示的に低下させる効果を持つ可能性がある。ただし、これがトランプ大統領の実際の発言媒体であれば事実の記述であり、操作とは言えない。

まとめ：本放送において明確な連座による信用失墜の技法は確認されない。トランプ発言の「SNS投稿」という表現は事実の記述の範囲内と評価できる。スコアは最低限の注意喚起として1とする。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見 1：

位置：00:00:04～00:00:43（冒頭）

内容：「イランとアメリカの間で再び衝突が起きる可能性はある。アメリカがいかなる合意や約束も守らないことは明らかだ」

タイミング効果：放送の冒頭にファルス通信のイラン側主張を配置することで、視聴者の認知的枠組みが最初にイラン側の視点で形成される。心理学的に、最初に提示された情報は後続情報の解釈に影響を与える（初頭効果）。

所見 2：

位置：00:01:38～00:01:55（末尾・イラン関連ニュースの締め）

内容：「実際には400億ドルから500億ドル近くと推計されると伝えています。」

タイミング効果：イラン関連ニュースの締めくくりとして、米国政府の費用申告への疑問を提示することで、視聴者の記憶に残る最後の印象として「米国政府の不透明性」が刻まれる（親近効果）。

まとめ：タイミングの問題は軽微であり、意図的な操作とは断定できない。ただし冒頭のイラン側主張の配置と末尾の費用疑問の配置は、無意識的であれ特定の印象形成に寄与している可能性がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨はあるが、同等の他の立場には見られない。

方法論的原則 (v2.2)：評価の前に、反応を引き起こした具体的な出来事を記録すること。反応は、他の立場における同等の出来事が同様の反応を生じさせなかった場合にのみ選択的と評価できる。

本放送はアナウンサーによる一方的なニュース読み上げ形式であり、感情的反応・憤慨を示す場面が構造上存在しない。したがって、選択的憤慨の評価対象となる事象は確認されない。

引き起こした出来事：該当なし

反応：該当なし

比較：評価対象となる複数の立場・ゲストが存在しないため、非対称性の確認は不可能。

非対称性：確認不可能

まとめ：本放送の形式上、選択的憤慨は確認されない。スコア1は完全な中立性の証拠ではなく、評価対象の不在を示す。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								8/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:04～00:00:20

引用：「イランの体制寄りのメディア、ファルス通信は、中央司令部の高官の声明として、イランとアメリカの間で再び衝突が起きる可能性はある。アメリカがいかなる合意や約束も守らないことは明らかだと伝えました。」

操作：「体制寄りのメディア」という注記はあるものの、その後の内容はファルス通信の主張をほぼそのまま伝達しており、「アメリカが約束を守らない」というイラン側の一方的な主張が事実として流通するリスクがある。

なぜ問題か：視聴者はファルス通信の政治的性格を十分に理解していない可能性があり、「体制寄り」という一言の注記だけでは情報の偏向性を適切に伝えられない。米国側の反論が同等の重みで提示されていないため、イラン側の主張が相対的に強調される。

所見 2：

タイムスタンプ：00:01:38～00:01:55

引用：「CNNは情報筋の話として、これまでにおよそ250億ドルかかったと、アメリカの国防総省が発表していたイランでの作戦の費用について、実際には400億ドルから500億ドル近くと推計されると伝えています。」

操作：国防総省の公式発表（250億ドル）とCNNの推計（400～500億ドル）を並置することで、米国政府が費用を過少申告しているという印象を与えるフレームが形成されている。

なぜ問題か：国防総省の公式見解への反論・説明が提示されないまま、「実際には」という表現が使われることで、CNNの推計が事実であるかのような印象を与える。

所見 3：

タイムスタンプ：00:00:45～00:00:53

引用：「トランプ大統領は、SNSへの投稿で、イラン指導部における強硬派と穏健派の内部構想を指摘していました。」

操作：トランプ大統領の発言が「SNSへの投稿」として紹介されることで、公式外交チャンネルではなく非公式・個人的な発言として相対化されている。

なぜ問題か：米国大統領の公式見解と非公式発言の区別が曖昧であり、トランプ発言の政策的重みが軽視される可能性がある。

まとめ：本放送のフレーミングは、イラン・米国関係において情報源の偏向性を十分に補正せず、ファルス通信とCNNという二つの非中立的情報源を並置することで、中立的な印象を与えながら実際には特定の解釈枠組みを提供している。ただし速報ニュース形式の制約を考慮すると、意図的な操作とは断定できない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:25～00:00:29

引用：「アメリカによる無謀で愚かな行動に対し、軍部は万全の準備ができていると見せています。」

操作：「無謀で愚かな行動」（ファルス通信の表現）がそのまま引用されており、この強い価値判断的表現に対する編集上の距離化が不十分。

なぜ問題か：「無謀で愚かな」という表現は明確な価値判断を含む。引用符や「～と主張している」等の明確な距離化表現が使用されているが、放送の流れの中でこの表現が視聴者の認識に影響を与える可能性がある。中立的な代替表現は「アメリカの行動を批判し」等。

所見 2：

タイムスタンプ：00:01:26～00:01:36

引用：「イランが主に攻撃の目標としたのは、高度なレーダーシステムや通信システム、航空機などで、高架で代替が難しかったことが多かったとしています。」

操作：「高架で代替が難しかった」という表現は、イランの攻撃の戦略的有効性を強調する含意を持つ。

なぜ問題か：この表現はCNNの情報源に基づくものだが、イランの軍事作戦の効果を肯定的に評価するニュアンスを含んでおり、中立的な報道としては「被害を受けた」等の事実記述に留めるべきであった。

まとめ：言葉の選択における問題は主にファルス通信の表現をそのまま引用する際に生じており、意図的な操作というよりも速報形式における編集上の不注意と評価できる。全体的な言語使用は比較的中立的であり、スコアは低い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：質問、割り込み、共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：評価の前に、介入を引き起こした具体的な出来事を記録すること。介入は、他のゲストにおける同等の出来事が同様の介入を生じさせなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：00:04:38～00:04:39

引き起こした出来事：放送終了時の締めくくり

引用（司会者）：「この時間のニュース、ハバラがお伝えしました。」

比較：本放送はインタビュー形式ではなく、アナウンサーによる一方的なニュース読み上げ形式であるため、司会者の介入・非対称性を評価する対象となるゲストが存在しない。

非対称性：確認不可能 — インタビュー形式でないため、本基準の適用対象外。

まとめ：本放送は速報ニュース形式であり、インタビューや討論を含まないため、司会者の行動における非対称性を評価することは構造上不可能である。スコアは形式的制約による低スコアであり、積極的な中立性の証拠ではない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

本放送はインタビュー形式を含まない速報ニュース形式であるため、質問の非対称性を評価する対象が存在しない。アナウンサーによる一方向的な情報伝達のみが行われており、本基準の適用対象外である。

まとめ：質問の非対称性は本放送の形式上、評価不可能。スコア0は中立性の証拠ではなく、評価対象の不在を示す。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見 1：

設定されたアジェンダ要素：イラン・米国の軍事的対立を「再び衝突が起きる可能性」という枠組みで提示することで、軍事的緊張の継続・エスカレーションを既定路線として設定している。

タイムスタンプ：00:00:04～00:00:14 — 根拠：「イランとアメリカの間で再び衝突が起きる可能性はある」

代替アジェンダ：外交的解決の可能性、核合意再交渉の動向、国際社会の仲介努力

所見 2：

設定されたアジェンダ要素：米軍施設への被害を「高架で代替が難しかった」という表現で提示することで、イランの攻撃の戦略的有効性を既定事実として設定している。

タイムスタンプ：00:01:26～00:01:36 — 根拠：「高架で代替が難しかったことが多かったとしています」

代替アジェンダ：米軍の対応能力・復旧能力、被害の実際の軍事的影響

所見 3：

設定されたアジェンダ要素：日本の公共放送として、中東情勢が日本に与える影響（エネルギー安全保障、外交政策、日米同盟）がアジェンダに上らないことで、これらの問題が「日本には関係ない」という暗黙の前提が形成される。

タイムスタンプ：該当なし（欠如による）

代替アジェンダ：ホルムズ海峡の安全保障、日本のエネルギー輸入への影響、日本政府の外交的立場

まとめ：本放送のアジェンダ設定における最大の問題は、日本の公共放送として当然含まれるべき「日本への影響」という視点がアジェンダから完全に排除されていることである。これは意図的な排除というよりも、速報形式における構造的制約の結果と考えられるが、放送法第4条の観点からは問題がある。

ステップ 2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	3	ファルス通信とCNNの二極情報源を並置することで、中立的印象を演出しながら独立した分析を排除している
2	言葉の選択	2	「無謀で愚かな」等の価値判断的表現の引用に対する編集上の距離化が不十分
3	専門家の選択	5	独立した専門家が皆無で、対立する当事者寄りの二情報源のみに依拠している

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4	省略	5	日本への影響、米国政府の公式反論、独立した検証が完全に欠如している
5	司会者の行動	1	インタビュー形式でないため評価対象が存在せず、非対称性は確認不可能
6	時間配分	3	イラン関連でファルス通信・CNNに集中し、独立分析・日本への影響に時間ゼロ
7	質問の非対称性	0	インタビュー形式でないため評価対象が存在しない
8	連座による信用失墜	1	明確な連座技法は確認されず、トランプ発言の「SNS投稿」表現は事実の範囲内
9	数字の操作	3	費用比較における「実際には」という表現と文脈なき被害規模提示がリスクを生む
10	タイミング	2	冒頭のイラン側主張配置と末尾の費用疑問配置が特定の印象形成に寄与
11	映像選択	0	トランスクリプトから視覚的要素の評価は不可能
12	情報源の選択	5	対立する二つの非中立的情報源のみで独立した第三者的情報源が完全に欠如
13	選択的憤慨	1	一方向的ニュース形式のため評価対象が存在しない
14	偽りのバランス	4	対立当事者寄り二情報源の並置が独立分析の欠如を隠蔽している
15	アジェンダ設定	3	日本への影響がアジェンダから完全に排除されている

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：2.5／10
- 完全性スコア：3.5／10
- 複合スコア：2.8／10（基準スコア70%＋完全性スコア30%：2.5×0.7＋3.5×0.3＝1.75＋1.05＝2.80）

支配的な技法

本放送における最も強力な3つの技法：

1. 情報源の選択（スコア5）：独立した専門家・第三者的情報源が完全に欠如し、対立する当事者寄りの二情報源（ファルス通信・CNN）のみに依拠している。これは表面上の「両論併記」を演出しながら、実際には独立した検証を排除する構造的問題である。
2. 省略（スコア5）：日本の公共放送として当然含まれるべき「日本への影響」（エネルギー安全保障、外交政策、日米同盟への影響）が完全に欠如しており、放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から問題がある。
3. 偽りのバランス（スコア4）：対立する当事者寄りの二情報源を並置することで「バランス」を演出しているが、この構造は独立した専門家分析の欠如を隠蔽する効果を持っており、視聴者に誤った「均衡報道」の印象を与えている。

放送の核心メッセージ

メッセージ1（内容的）：「イランと米国の軍事的対立は継続・エスカレートする可能性があり、米国の軍事施設は深刻な被害を受けている」

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



技法：フレーミング+情報源選択 — 根拠：00:00:04~00:00:14、00:01:08~00:01:22

メッセージ2（機関的）：「米国政府は作戦費用を過少申告している可能性がある」

技法：数字の操作+タイミング — 根拠：00:01:38~00:01:55

メッセージ3（社会的）：「中東の軍事的緊張は日本とは無関係な遠い出来事である」

技法：アジェンダ設定+省略 — 根拠：日本への影響言及の完全欠如（全編）

操作度の分類

- 軽微な傾向（3~4）

根拠：本放送は約5分間の速報ニュース形式であり、深度ある分析を期待することは形式上困難である。確認された問題の多くは意図的な操作というよりも、速報形式の構造的制約と情報源選択の偏りによるものと評価できる。ただし、独立した専門家分析の完全な欠如と日本への影響の省略は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の観点から軽微ではあるが問題がある。複合スコア2.8は「軽微な傾向」の範囲内であり、「明確な一方向性」には達していない。

結論

本放送（NHKニュース午後2時、約5分間）は、速報ニュース形式の構造的制約の中で基本的な事実報道を行っているが、放送法第4条が求める多角的論点提示の観点からは複数の問題点が確認される。最も重大な問題は、イラン・米国関係の報道において独立した専門家分析が皆無であること、および日本の公共放送として当然含まれるべき「日本への影響」の視点が完全に欠如していることである。情報源がファルス通信（イラン体制寄り）とCNN（米国メディア）の二極に限定されており、この構造は表面上の「両論併記」を演出しながら独立した検証を排除している。複合スコア2.8は「軽微な傾向」の範囲内であり、放送法第4条の重大な違反とは断定できないが、公共放送としての情報源多様性と多角的論点提示の改善が求められる。

ステップ3 — 政党政治的バイアス

本放送は国際ニュース（イラン・米国関係）と国内事件（水難・火災）を扱っており、日本の政党政治に直接関連する内容は含まれていない。したがって、各政党の政策立場の正確な描写を評価することは困難である。

政党	スコア（-5~+5）	放送での描写対党の政策立場
自民党（LDP）	0	言及なし — 政策立場の描写なし — 評価対象外
立憲民主党（CDP）	0	言及なし — 政策立場の描写なし — 評価対象外
公明党（Komeito）	0	言及なし — 政策立場の描写なし — 評価対象外
維新の会（Ishin）	0	言及なし — 政策立場の描写なし — 評価対象外

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



共産党 (JCP)	0	言及なし — 政策立場の描写なし — 評価対象外
国民民主党 (DPP)	0	言及なし — 政策立場の描写なし — 評価対象外

政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：該当なし（全政党が言及されていない）
- 最も強い歪曲：該当なし
- 0からの平均偏差：0.0
- 結論：本放送は日本の政党政治に直接関連する内容を含まないため、政党政治的バイアスの評価は不可能である。ただし、中東情勢報道において日本政府（LDP連立政権）の公式立場が全く言及されないことは、間接的に政府の外交政策への説明責任を回避する効果を持つ可能性がある。

左右スペクトル上の全体的傾向

傾向スコア：-0.3

（正の値＝左寄り、負の値＝右寄り、0.0＝均衡）

分類：均衡

根拠：本放送は日本の政党政治に直接関連する内容を含まず、左右スペクトル上の明確な傾向を示す要素は限定的である。ファルス通信（イラン体制寄り）の主張を冒頭に配置し、米国政府の費用申告への疑問を提示する構造は、わずかに反米・反政府的なニュアンスを持つ可能性があるが、これは日本の左右スペクトルとは直接対応しない。スコア-0.3は実質的に均衡の範囲内であり、有意な傾向とは評価できない。

ステップ4 — 法的評価（放送法第4条）

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平（第2号）、報道の正確性（第3号）、および多角的な論点の提示（第4号）を放送事業者に義務付けている。

違反事項1：

規範：放送法第4条第4号（多角的論点の提示）

事実：イラン・米国関係の報道において、独立した専門家分析、日本への影響、国際法的評価が完全に欠如しており、ファルス通信とCNNという二つの非中立的情報源のみに依拠している。

根拠：タイムスタンプ00:00:04～00:01:55 — 引用：「イランの体制寄りのメディア、ファルス通信は…」 「一方、アメリカのCNNテレビは…」

評価：放送法第4条第4号が求める「できる限り多くの角度から論点を明らかにすること」の要件を満たしていない。ただし、約5分間の速報ニュース形式という制約を考慮すると、重大な違反とは断定できない。

違反事項2：

規範：放送法第4条第3号（報道の正確性）

事実：「実際には400億ドルから500億ドル近くと推計されると伝えていますが」という表現において、CNNの匿名情報源に基づく推計が、国防総省の公式発表と同等の確実性を持つかのように提示されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

根拠：タイムスタンプ00:01:38～00:01:55 — 引用：「実際には400億ドルから500億ドル近くと推計されると伝えて
います」

評価：「実際には」という表現は、推計値を事実として提示するリスクを持ち、放送法第3条の2第1項第3号（事実と
意見の明確な区別）の観点からも問題がある。ただし「推計されると伝えていきます」という留保表現があるため、重
大な違反とは断定できない。

放送法第4条 総合評価

本放送は速報ニュース形式（約5分間）という構造的制約の中で基本的な事実報道を行っており、放送法第4条の重大
な違反とは断定できない。しかし、第4条第4号が求める多角的論点提示の観点からは、独立した専門家分析の欠如と
日本への影響の省略が問題として指摘できる。情報源の選択においてファルス通信とCNNの二極に限定されているこ
とは、表面上の「両論併記」を演出しながら実際には独立した検証を排除する構造であり、公共放送としての情報源
多様性の改善が求められる。費用比較における「実際には」という表現は第3号（報道の正確性）の観点から注意が
必要であるが、「推計されると伝えていきます」という留保表現により重大な違反には至っていない。総合的に、本放
送は放送法第4条の精神に完全には合致していないが、法的に問題となる重大な違反は確認されない。

情報源の深度チェック（引用されたすべての専門機関・NGO・相談機関に対する義務的確認）

ファルス通信（Fars News Agency）

- 資金調達：イラン革命防衛隊（IRGC）に近い半官半民のメディア機関。イラン政府・革命防衛隊系の資金によ
る運営とされる。利益相反：イラン政府の政策を正当化する方向での報道バイアスが構造的に存在する。
- 委任：イラン政府の立場を代弁するメディアとして設立・運営されており、中立的評価との両立は困難。
- 利益相反：体制寄り報道を維持することで組織の存続・資金調達が保証される構造。イラン政府に批判的な報道
は組織の存続を脅かす。
- 信頼性マトリクス（ソース信号機、6次元、各-2～+2）：
 - D1 利益相反：-2（イラン政府系メディアとして政府立場を支持する構造的バイアス）
 - D2 個人的リスク：-1（体制寄り報道は個人的リスクを伴わない）
 - D3 専門的能力：+1（イラン国内情報へのアクセスは高い）
 - D4 意見の一貫性：0（政府方針に従う一貫性はあるが独立した一貫性ではない）
 - D5 感情化対データ：-1（「無謀で愚かな」等の感情的表現を含む）
 - D6 情報源レベル：+1（一次情報源に近いが政治的フィルターあり）

合計：-2 → ソース信号機：黄色（-4～+4）

- 対立意見：米国国防総省の公式声明、独立した中東安全保障専門家の分析、アルジャジーラ等の中立的メディア
の報道が対立情報源として必要であったが、引用されていない。

重要：「体制寄り」という注記は社会的な位置づけの記述であり、それ自体が情報の信頼性評価の根拠にはならない
。上記の6次元マトリクスに基づく評価が必要である。

CNN（Cable News Network）

- 資金調達：Warner Bros. Discovery傘下の民間放送局。広告収入・購読料・有料チャンネル契約による運営。利
益相反：視聴率・注目度を高める方向での報道バイアスの可能性、および米国メディアとしての地政学的視点の
内在。
- 委任：独立した報道機関として中立性を標榜するが、「アメリカや湾岸諸国の情報筋」という情報源の偏りが構
造的に存在する。
- 利益相反：米国メディアとして米国の安全保障上の利益に近い視点を持つ傾向があり、匿名情報源への依拠が独
立した検証を困難にしている。
- 信頼性マトリクス：
 - D1 利益相反：-1（米国メディアとして米国の視点に近い傾向）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- D2 個人的リスク : 0 (機関としてのリスクは中程度)
- D3 専門的能力 : +2 (国際報道における高い専門性と実績)
- D4 意見の一貫性 : +1 (報道基準の一貫性は比較的高い)
- D5 感情化対データ : +1 (衛星画像等のデータに基づく報道)
- D6 情報源レベル : +1 (情報筋への直接取材、ただし匿名)

合計 : +4 → ソース信号機 : 黄色 (-4~+4)

5. 対立意見 : 独立した衛星画像分析機関 (Planet Labs、Maxar等) の独自評価、ロシア・中国・イランの公式見解、国際安全保障研究機関 (IISS、SIPRI等) の分析が対立情報源として必要であったが、引用されていない。

重要 : CNNが「信頼できる報道機関」として広く認知されていることは社会的な位置づけの記述であり、それ自体が情報の信頼性評価の根拠にはならない。上記の6次元マトリクスに基づく評価が必要である。

本分析はバージョン2.7-detailに基づき、方法論的原則K5+K13 (介入の引き金となった出来事の記録) を適用して作成された。分析の限界として、本トランスクリプトは音声のみの記録であり、映像・視覚的要素の評価は不可能であること、および放送日時が特定できないため時事的文脈の完全な評価に制約があることを付記する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



59. 数字の操作

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見 1：

タイムスタンプ：00:01:38～00:01:55

数字：「これまでにおよそ250億ドルかかったと、アメリカの国防総省が発表していたイランでの作戦の費用について、実際には400億ドルから500億ドル近くと推計されると伝えています。」

欠如している文脈：国防総省の250億ドルという数字の算出根拠、CNNの400～500億ドルという推計の方法論・信頼区間、両数字の比較可能性（計上項目の違い等）が提示されていない。

影響：「実際には」という表現が、国防総省の数字が虚偽であるという印象を与える可能性がある。費用の差異が計上方法の違いによるものか、意図的な過少申告によるものかが不明のまま、後者の印象が強調される。

所見 2：

タイムスタンプ：00:01:08～00:01:22

数字：「中東8カ国の少なくとも16カ所のアメリカ軍の施設が被害を受け、一部は事実上使用できなくなっていると報じました。これは中東にあるアメリカ軍の拠点の半数以上を占めるとしています。」

欠如している文脈：「中東にあるアメリカ軍の拠点」の総数、「被害を受けた」の定義（軽微な損傷から完全破壊まで）、「事実上使用できなくなっている」施設の具体的な数が不明。

影響：「半数以上」という表現が、米軍の中東プレゼンスへの壊滅的打撃という印象を与える可能性があるが、実際の被害規模の評価に必要な文脈が欠如している。

まとめ：数字の操作は意図的なものとは断定できないが、費用比較における「実際には」という表現と、被害規模の文脈なき提示は、視聴者に誤った印象を与えるリスクがある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



64. 偽りのバランス (フォールス・バランス)

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を演出。

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:04～00:01:55

構造：「ファルス通信（イラン体制寄り）の主張」と「CNN（米国メディア）の報道」を並置することで、表面上の「両論併記」を演出している。

分析：この二極構造は、対立する当事者寄りの二つの情報源を並置することで「バランス」を演出しているが、実際には独立した第三者的分析が完全に欠如している。ファルス通信はイラン政府の立場を代弁し、CNNは米国・湾岸諸国の情報筋に依拠しており、両者の間に真の中立的視点は存在しない。この構造は、視聴者に「両方の立場を伝えた」という印象を与えながら、実際には独立した検証を排除している。

所見 2：

タイムスタンプ：00:01:38～00:01:55

構造：「国防総省の公式発表（250億ドル）」と「CNNの推計（400～500億ドル）」の並置

分析：国防総省の公式発表とCNNの推計を並置することで、両者が同等の信頼性を持つかのような印象を与えているが、実際には公式発表と匿名情報源に基づく推計は方法論的に異なる性格を持つ。この並置は「実際には」という表現と組み合わせることで、公式発表への疑問を植え付ける効果を持つ。

まとめ：本放送における偽りのバランスは、対立する当事者寄りの二情報源の並置という形で現れており、独立した専門家分析の欠如を隠蔽する効果を持っている。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選択	0/10	問題なし
2	情報源の選択	0/10	問題なし
3	時間配分	0/10	問題なし
4	省略（選択的省略）	0/10	問題なし
6	連座による信用失墜（コンタクト・ギルト）	0/10	問題なし
7	タイミング	0/10	問題なし
8	選択的憤慨	0/10	問題なし
9	網羅性	8/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	0/10	問題なし
11	言葉の選択と用語	0/10	問題なし
12	司会者の行動	0/10	問題なし
13	質問の非対称性	0/10	問題なし
15	アジェンダ設定	0/10	問題なし
59	数字の操作	0/10	問題なし
64	偽りのバランス（フォールス・バランス）	0/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

8.0/10

公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. [arXiv:2304.06588](https://arxiv.org/abs/2304.06588).

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](https://ssrn.com/abstract=6688478)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](https://ssrn.com/abstract=6733280)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](https://ssrn.com/abstract=6733880)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schlaepfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1